（別紙4（2））

事業所名 さくら悠輪苑

作成日： 平成　　29年　　4月　　24　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	非常時に備えて薬やオムツ以外にも、水や食料の備蓄が出来ていない。	利用者18名が災害にあった事を想定して、3日から4日生活ができる水や食料の備蓄を準備したい。	18名×3日～4日の水分、食料を購入し倉庫に保管する。	3ヶ月
2	35	様々な機会に近隣住民の参加協力が乏しい。	消防訓練に近隣住民の参加を促し、もしもの時に協力を依頼できる関係性をつくりたい。その他、イベント（行事）にも参加してもらえるよう努める。	消防訓練の案内を出して協力を依頼する。近隣住民にイベント（行事）の日時をお伝えできるようなツールを作る。	6ヶ月
3	40	食事中、介助する職員はいるが利用者さんの会話がほとんどなく、無言での食事になっている。楽しい食卓にしたい。	食事から広がる会話を楽しむなどの関わり方や雰囲気作りに配慮したい。	職員の休憩時間を見直す。食事の方法を配膳から取り分けに変えてみてはどうか。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。